

KYOTO

GRAPHIE

international

photography festival

写真への入門

KYOTOGRAPHIE 2017

小学生～高校生対象

写真コンクールへ挑戦してみよう

もくじ

1. キーワード 1 「構図」
2. キーワード 2 「視点と遠近法」
3. キーワード 3 「芸術的とされる作品とは」
4. キーワード 4 「主題」
5. それでは写真コンクールに挑戦してみよう！
6. キョウトグラフィって？

ステップ

1. キーワードを理解しよう
2. そのしくみを観察して、
分析してみよう
3. 撮ってみよう！
4. みんなで評価し合おう

こうず 構図

1. キーワードを理解しよう

構図: 作品の中に被写体ひしゃたなどがどのように写っているかを「構図」といいます。「構図」のバランスがよいと、写真も良くみえます。



© Akiko Takizawa

被写体：テーマやコンセプト（主題）を伝えるための人、物、風景

三分割法：画面を等間隔に引いた水平線と垂直線それぞれ2本で9等分し、被写体の位置を割り出すことによって画面内の構造原理を導き出す方法

こうず 構図

2. そのしくみを観察して、分析してみよう

写真の上に縦横2本ずつ線を引いて三分割します。

被写体はどのようにそれぞれの枠内に配置されているかよく見てみましょう。

- 写真のどのあたりに特に目がいきますか？
- それぞれの写真の構図は、どこが似ていて、どこが違いますか？
- どうして作者はその構図を選んだのだと思いますか？

「**構図**」が違くと印象も変わります。



中央に被写体



被写体を右のずらして背景の配分を多くしました。

どちらの方が好きですか？
印象的ですか？

こうず 構図

3. 撮ってみよう！

- 被写体となる物や人、風景を選びましょう。
- 三分割法を使いそれぞれ被写体、風景を違った配置にし、写真を5枚撮りましょう。

こうず 構図

4. みんなで評価し合おう

2、3人のグループになり、撮った写真を見て話し合いましょう。

- どのように三分割法を生かしましたか？
- どの写真が一番印象に残りますか？ なぜそれが印象深いと思いますか？



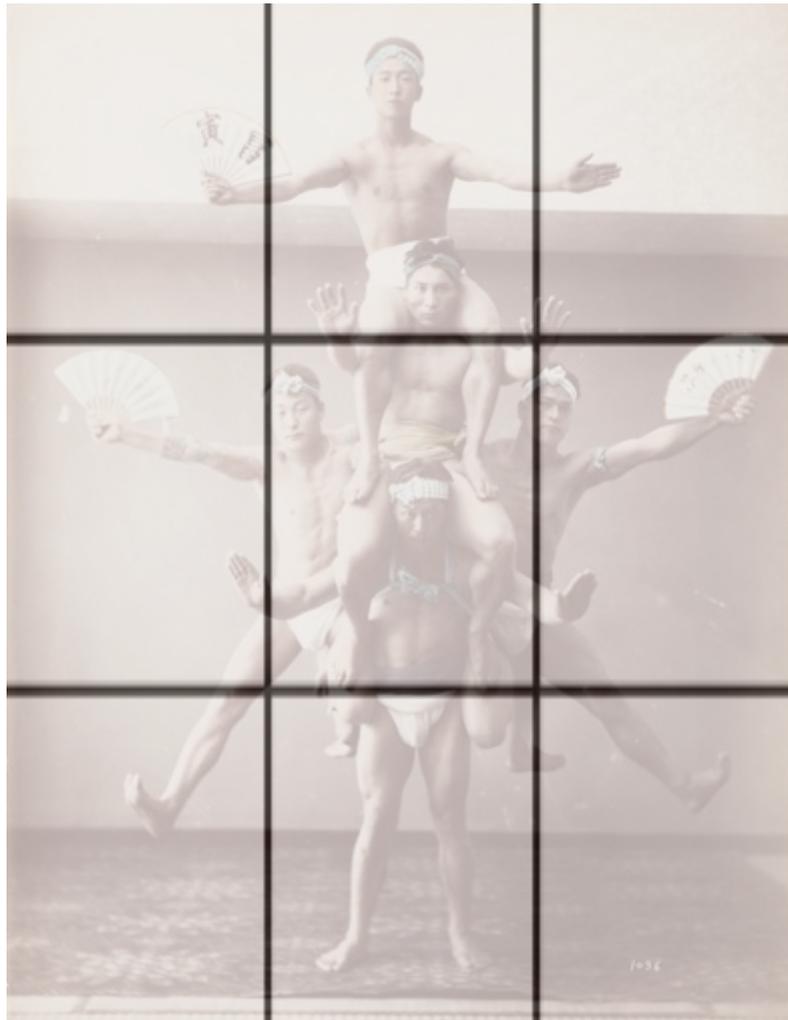
Torii on the Cliff, from the series
Headland
© Akiko Takizawa



Torii on the Cliff, from the series
Headland
© Akiko Takizawa



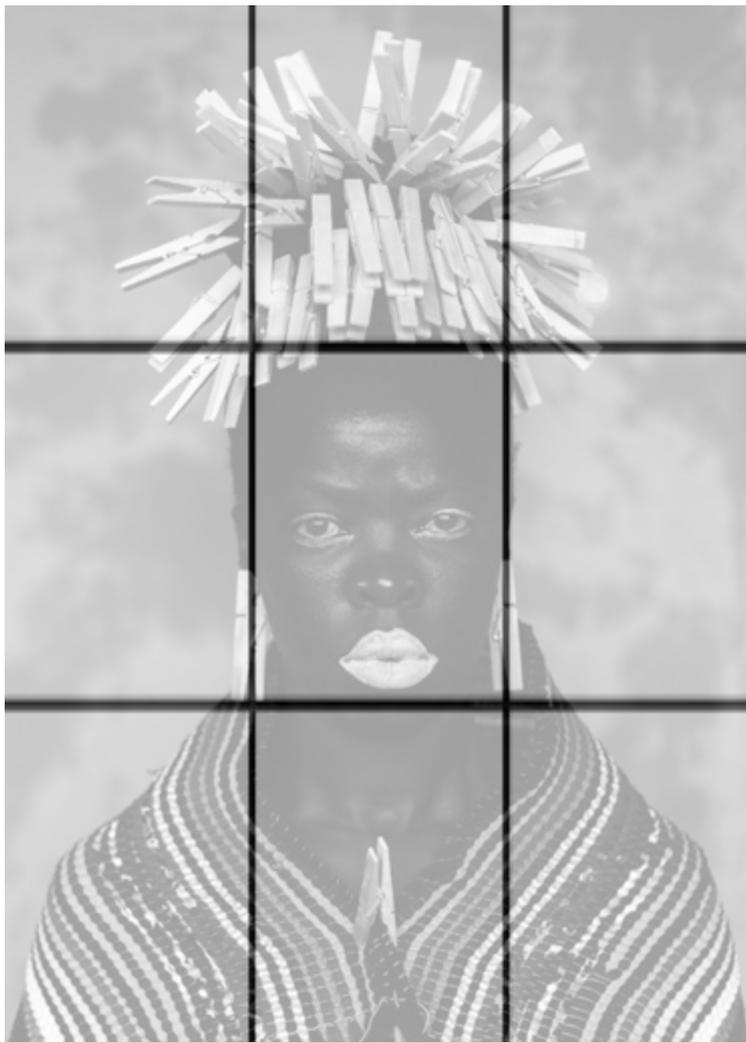
クリスチャン ポラック コレクション
日本写真の黄金時代 (1860-1875)



クリスチャン ポラック コレクション
日本写真の黄金時代 (1860-1875)



ザネレ・ムホリ 「Bester 1, Mayotte」 2015 年
© Zanele/Stevenson/Yancey Richardson



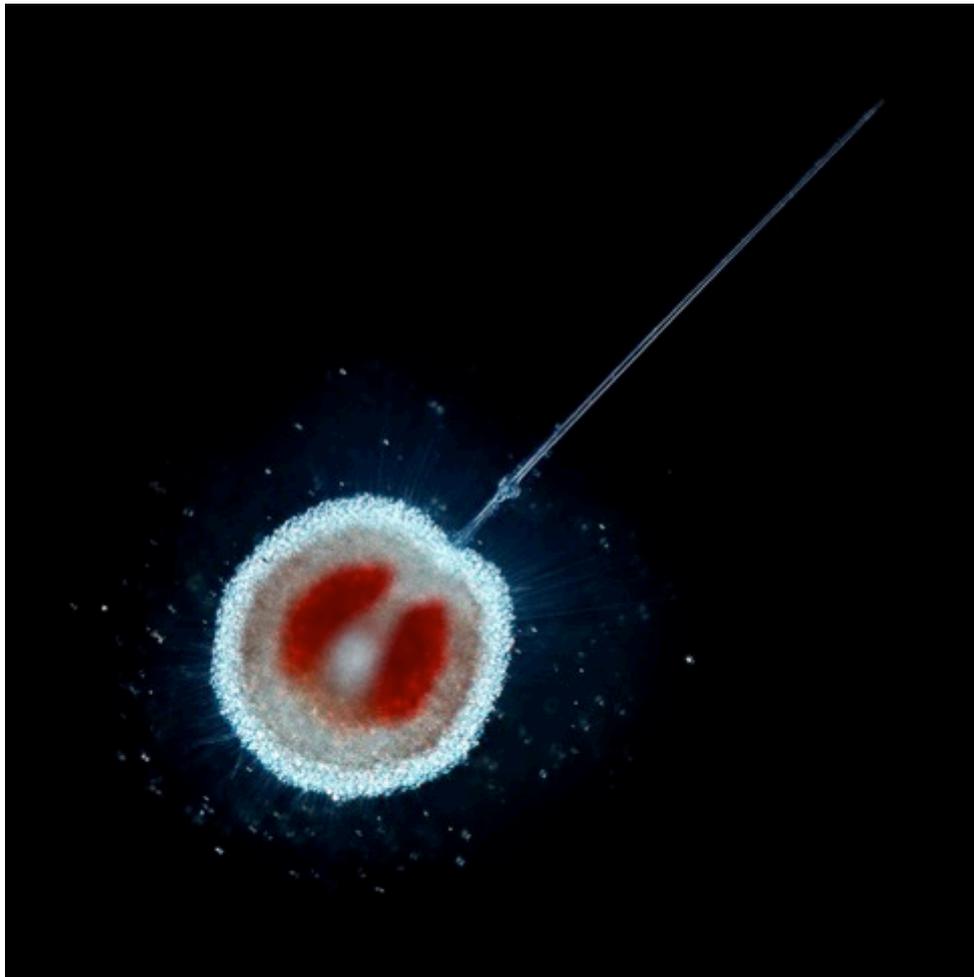
ザネレ・ムホリ 「Bester 1, Mayotte」 2015 年
© Zanele/Stevenson/Yancey Richardson



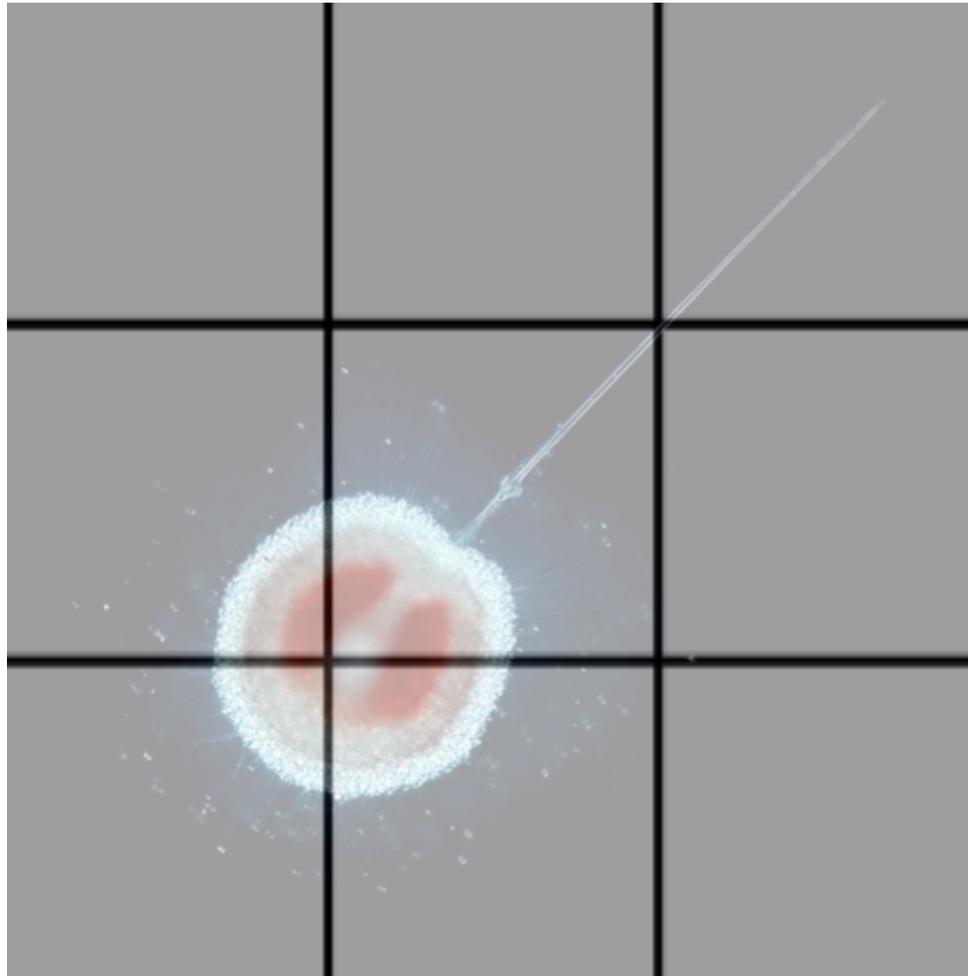
アーノルド・ニューマン
「イゴール・ストラヴィンスキー、
作曲家・指揮者」ニューヨーク 1946 年
© 1946 Arnold Newman / Getty Images



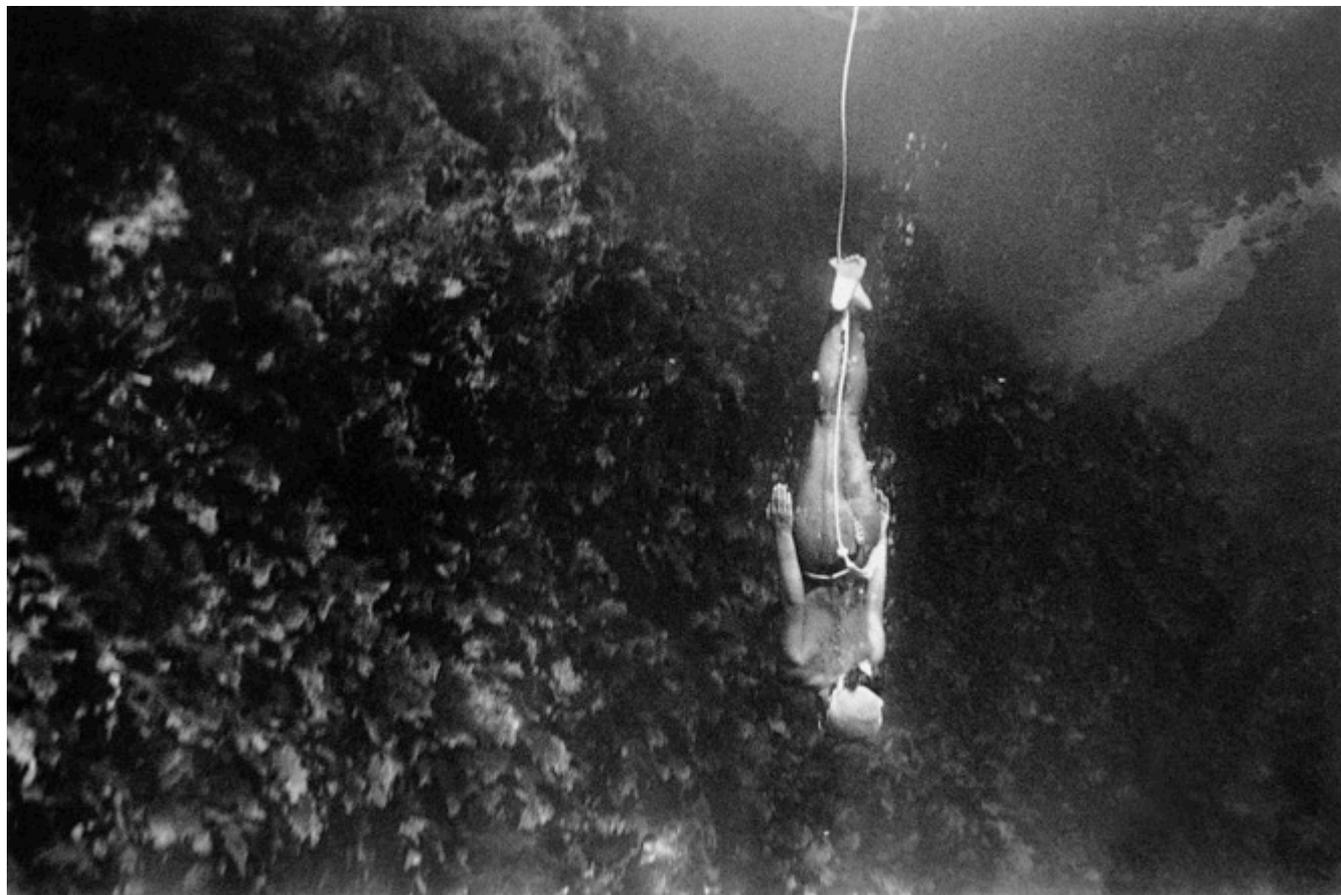
アーノルド・ニューマン
「イゴール・ストラヴィンスキー、
作曲家・指揮者」ニューヨーク 1946 年
© 1946 Arnold Newman / Getty Images



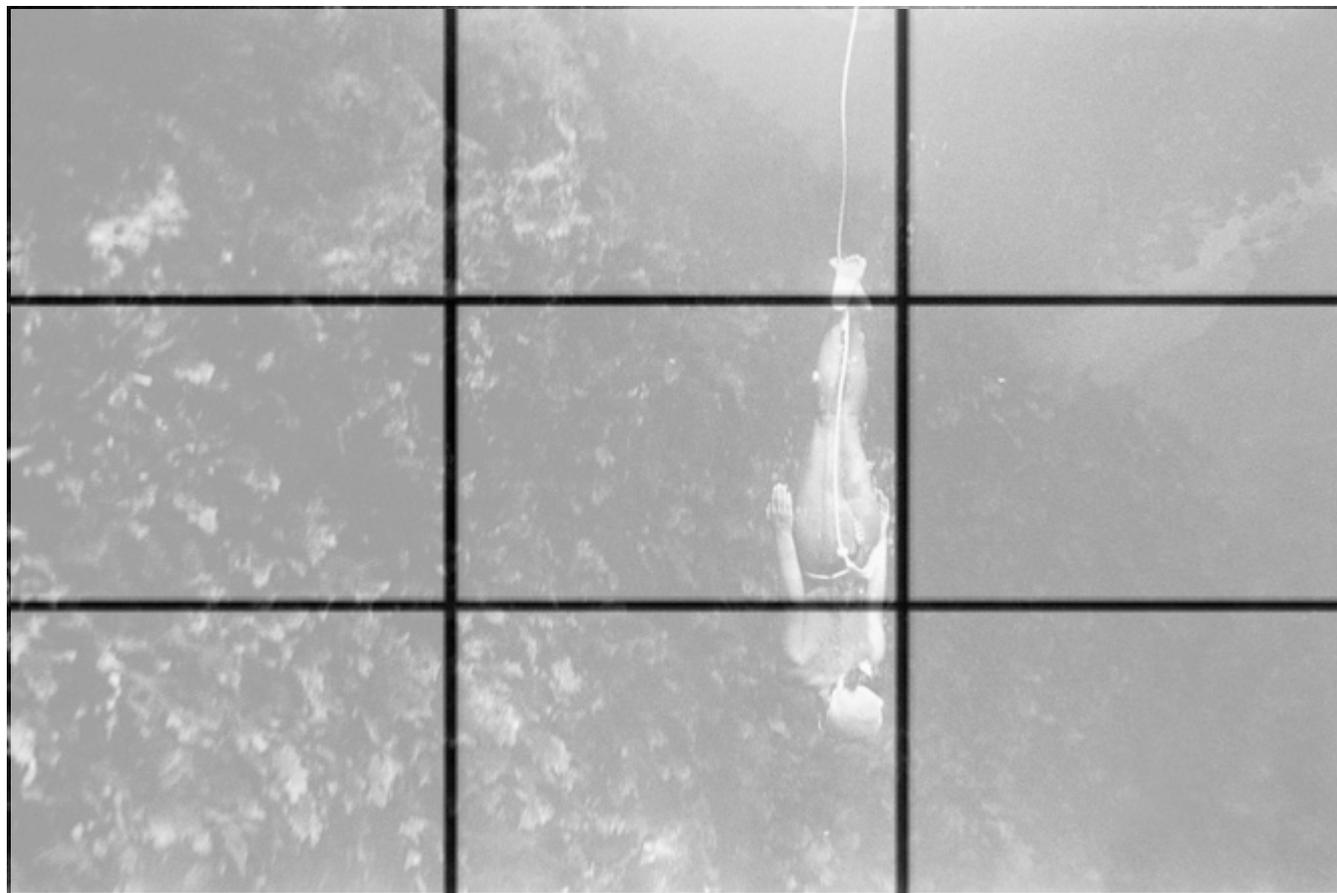
クリスチャン・サルデ
「放散虫、スポンゴディスクス属
のSpongodiscus biconcavus」
2015年 © Christian Sardet and The
Macronauts



クリスチャン・サルデ
「放散虫、スポンゴディスクス属
のSpongodiscus biconcavus」
2015年 © Christian Sardet and The
Macronauts



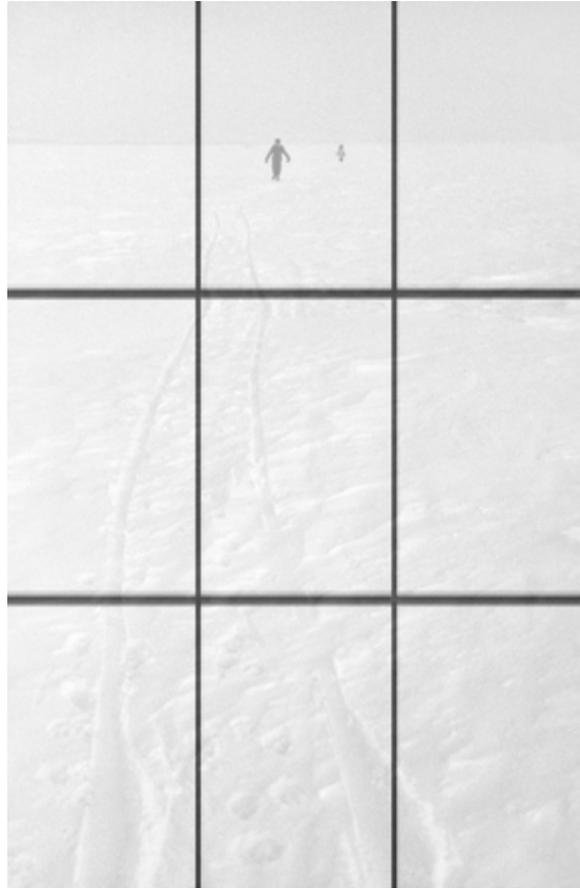
フォスコ・マラーニ
[海女の島] より 日本 1954
© 2015 MCL - Vieuxseux - Alinari



フォスコ・マラーニ
[海女の島] より 日本 1954
© 2015 MCL - Vieuxseux - Alinari



マルク・リブー 「Alaska」 1958
© Marc Riboud



マルク・リブー 「Alaska」 1958
© Marc Riboud

してん

えんきんほう

視点と遠近法

1. キーワードを理解しよう

遠近法: 私たちのいる立体的な三次元の世界を、写真や絵のような平面の二次元の世界でみせるため、奥行きや距離があるように撮る方法。ここではその方法をひとつひとつ説明しませんが、写真がどの「視点」からどのように見えるかをよく考え、奥行きや距離の見せ方を工夫することで、知らないうちにこの方法を使っていることもあります。



© Qian Haifeng

してん

えんきんほう

視点と遠近法

2. そのしくみを観察して、分析してみよう

視点：どこからその被写体を見ているか？

写真を撮る人の「視点」によって、
被写体がどのように見えるかも変わってきます。

- ^{ちょうかん} 鳥瞰 鳥のように上から見下ろすこと
- ^{ぎょうし} 仰視 虫のように下から上を見上げること
- 目線 目と同じ高さからまっすぐ見ること

してん

えんきんほう

視点と遠近法

3. 撮ってみよう

被写体を選んで、いろいろな「視点」から写真を撮ってみましょう。

- 鳥になったつもりで見下ろしてみましょう。
- 虫になったつもりで下から見あげてみましょう
- 目の高さからまっすぐ見てみましょう。

してん

えんきんほう

視点と遠近法

4. みんなで評価し合おう

2、3人のグループになり、撮った写真を見て話し合いましょう。

- あなたは、どの写真が面白いと思いますか？
その写真には「遠近法」が使われていると思いますか？
- 視点を変えるとどのように物の「見え方」が変わりますか？
「見え方」がかわると、写真に写っているものに対してのあなたの「感じ方」も変わりますか？



錢海峰 (チェン・ハイフエン)
「2015年5月27日、六盤水から紅果へ、6003号」
2015年



消失点

いってんとうしほう
一点透視法:
奥行きが視界の一点にあつまってい
く-消失点

銭海峰 (チェン・ハイフエン)
「2015年5月27日、六盤水から紅果へ、6003号」
2015年



細江英公「鎌鼬」 #8



細江英公「鎌鼬」 #8

● 消失点



Early morning train in Japan, 1964
© Nicolas Bouvier
(ニコラ・ブーヴィエ)



Early morning train in Japan, 1964
© Nicolas Bouvier
(ニコラ・ブーヴィエ)



ルネ・グロブリー The Eye of Love, #
535 © René Groebli, courtesy Galerie
Esther Woerdehoff



鏡を通して撮っています
撮っている人も見えますね。

ルネ・グロブリー The Eye of Love, #
535 © René Groebli, courtesy Galerie
Esther Woerdehoff



フランシス・ウルフ [アルバム
『ブルー・トレイン』に使用さ
れたジョン・コルトレーンの写
真,1058] 1577 / © Francis
Wolff/Mosaic Images

作者の視点はまるで床に
座り込んで男の人を見上
げてる様ですね。
(仰視)

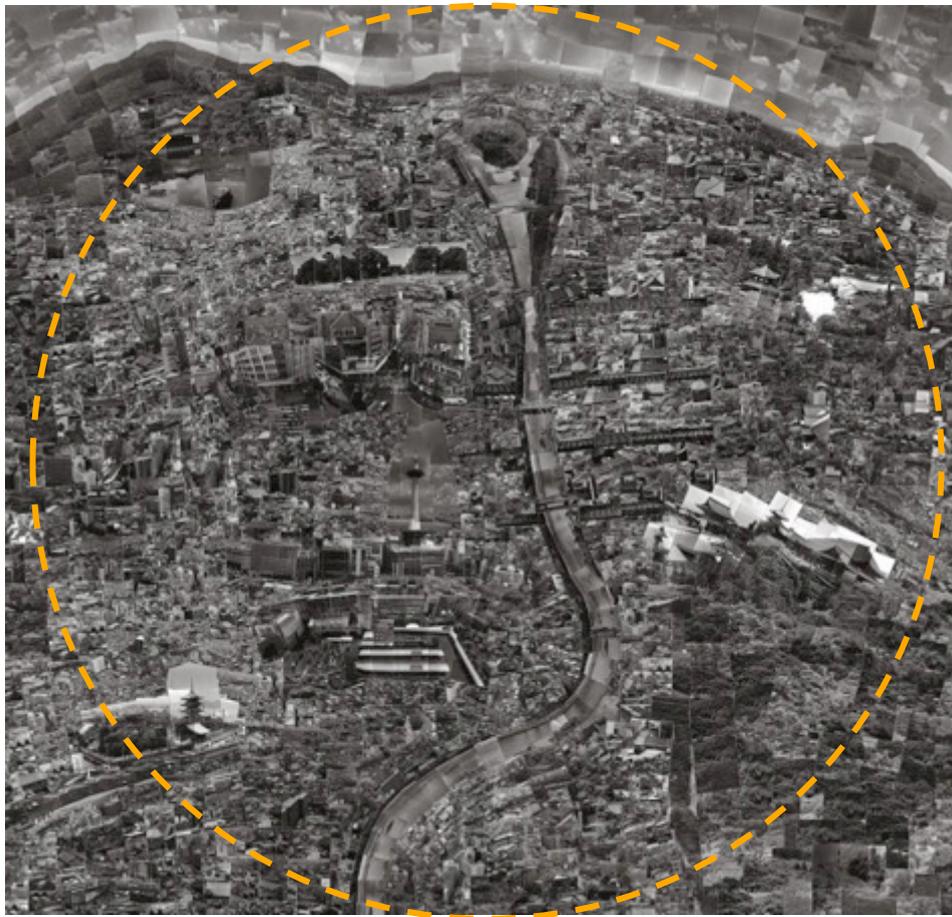


フランシス・ウルフ [アルバム
『ブルー・トレイン』に使用さ
れたジョン・コルトレーンの写
真,1058] 1577 / © Francis
Wolff/Mosaic Images



Diorama Map Kyoto 2003
© Sohei Nishino

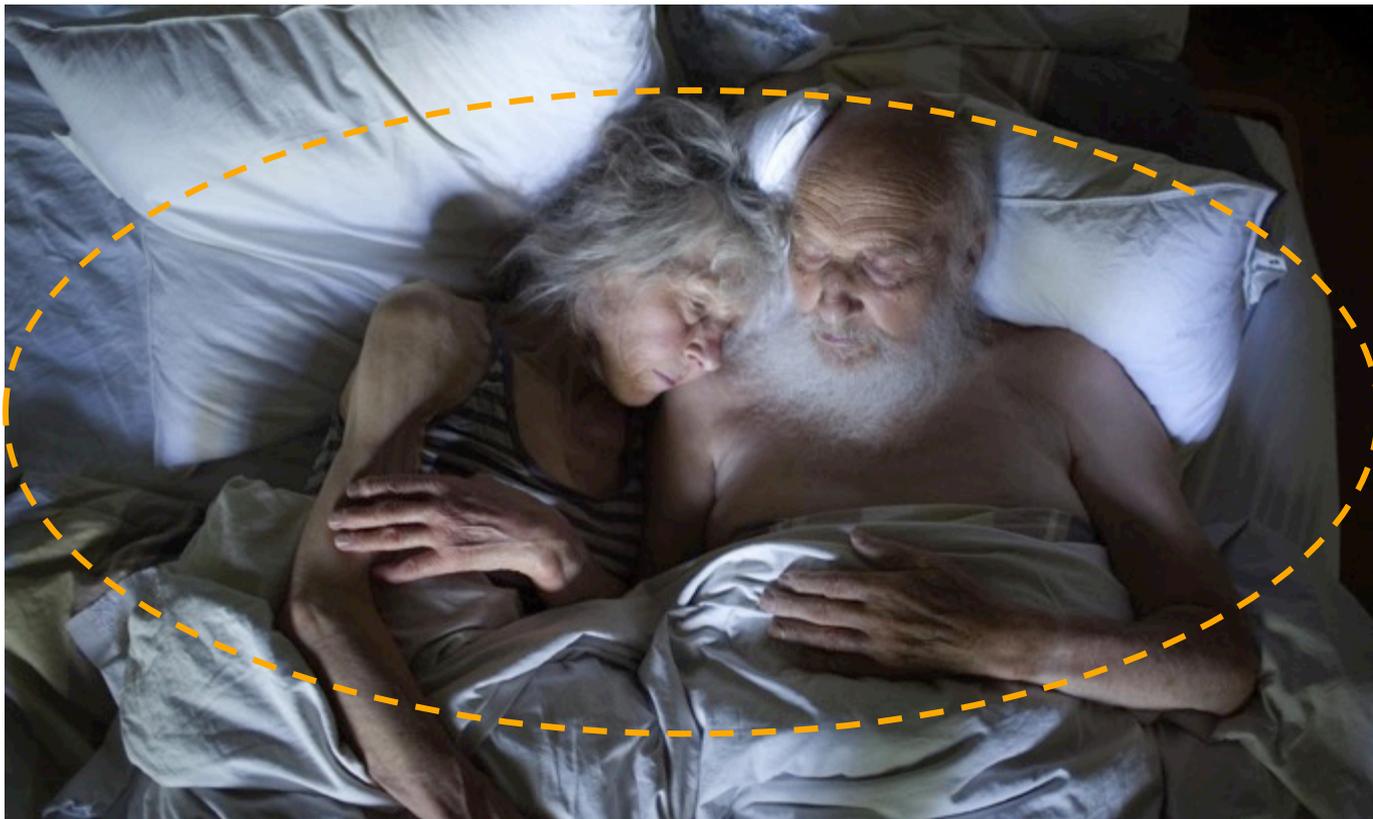
作者はこのシーンの真上から撮っています。
町を鳥の様に見下ろしていますね。（鳥観）



Diorama Map Kyoto 2003
© Sohei Nishino



ハンネ・ファン・デル・ワウデ
「Ben and Emmy in bed, series
Emmy's World」2013年©
Hanne van der Woude



作者はこのシーンの真上から撮っています。これも「鳥観」と呼べるでしょう。

英語で言うと**BIRD-EYE** <鳥の視線>と言います。

ハンネ・ファン・デル・ワウデ
「Ben and Emmy in bed, series
Emmy's World」2013年©
Hanne van der Woude

げいじゅつてき

「芸術的」とされる作品とは

1. キーワードを理解しよう

「芸術的」かどうかを見る部分（要素）：^{ようそ}線、形、色、色あい、質感、空間、光など、作品を作っているそれぞれの要素

「芸術的」に見える理由（原理）：^{げんり}模様、繰り返し（反復）、バランス、強調、リズム、統一感などが、それぞれの部分（要素）によって作り出されることによります

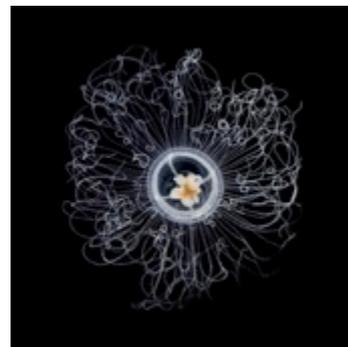
^{とくじ}独自の美しさや面白さ（^{びてきかんかく}美的感覚）：これらの要素や原理に、作品の素材と作者の技法がうまく結びついた時、はじめてその作品は「他とは違う」独自の美しさや面白さをもたらす



© Adrien Missikika



© Werner Bischof



© Christian Sardet

「芸術的」とされる作品とは

2. そのしくみを観察して、分析してみよう

写真の中にみてとれる線、色、形、質感、模様をよく観察してください。

- 独自の美しさや面白さ（美的感覚）があると思いますか？ そう思う理由を自分の言葉で表してみましょう。
- 写真は光がないと撮れません。写真の中で、光はどのように表されていますか？
- 作者はこれらの要素を使って、写真をどういうふうに見せたいと思っているのでしょうか？ また作者の考えや気持ちについても、考えてみましょう。

「芸術的」とされる作品とは

3.撮ってみよう

7枚の写真を撮りましょう。

写真を撮るときは、次のような「要素」を意識して、これらの「要素」がどういうふう
に写るかを考えながら撮ってみましょう。

- 線
- 形
- 色
- 質感
- 模様
- 繰り返し（反復）
- 光

さらに可能であれば、いくつかの「要素」をミックスした写真を撮りましょう。線と繰り返し
（反復）。模様と形。光と質感など。

「芸術的」とされる作品とは

4. みんなで評価し合おう

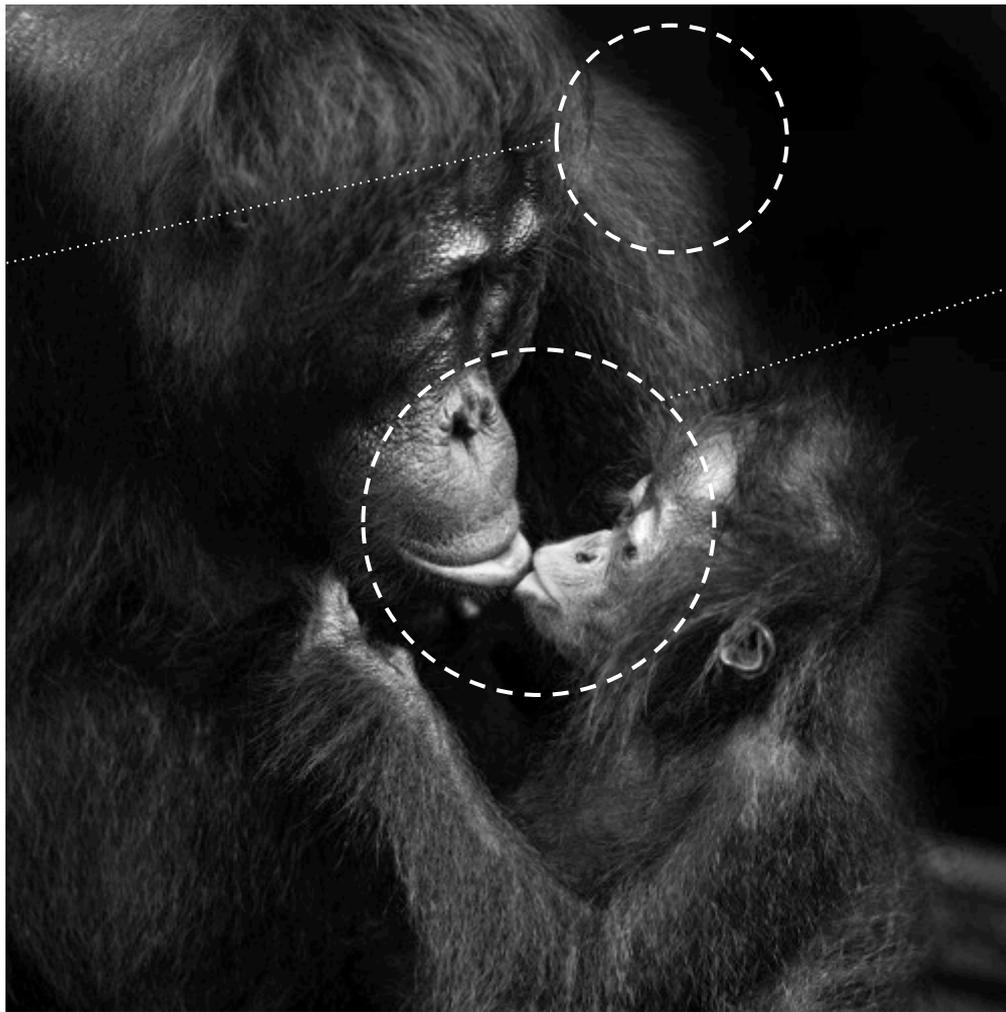
2、3人のグループになり、撮った写真を見て話し合いましょう。

- どの写真が一番面白いですか？
- うまく撮れていると思う写真を3枚選び、目を引くポイントはどこで、どのような特徴があるのか話し合ってみましょう。



イサベル・ムニョス 「キャンプ・リキー」
《霊長類》シリーズより ボルネオ
2015年 © Isabel Muñoz

背景の強い黒が
ふさふさなチンパ
ンジーの毛の質感
を強調していま
す。



光のスポットによって
コントラストが生ま
れ、焦点がはっきりし
ます。

イサベル・ムニョス 「キャンプ・リキー」
《霊長類》シリーズより ボルネオ
2015年 © Isabel Muñoz



Silk Drying 2, Kyoto, Japan 1951
© Werner Bischof / Magnum Photos
ワーナー・ビショフ (マグナム・
フォト)

揺らめく線の繰り返しがリズムと躍動感を生んでいます。

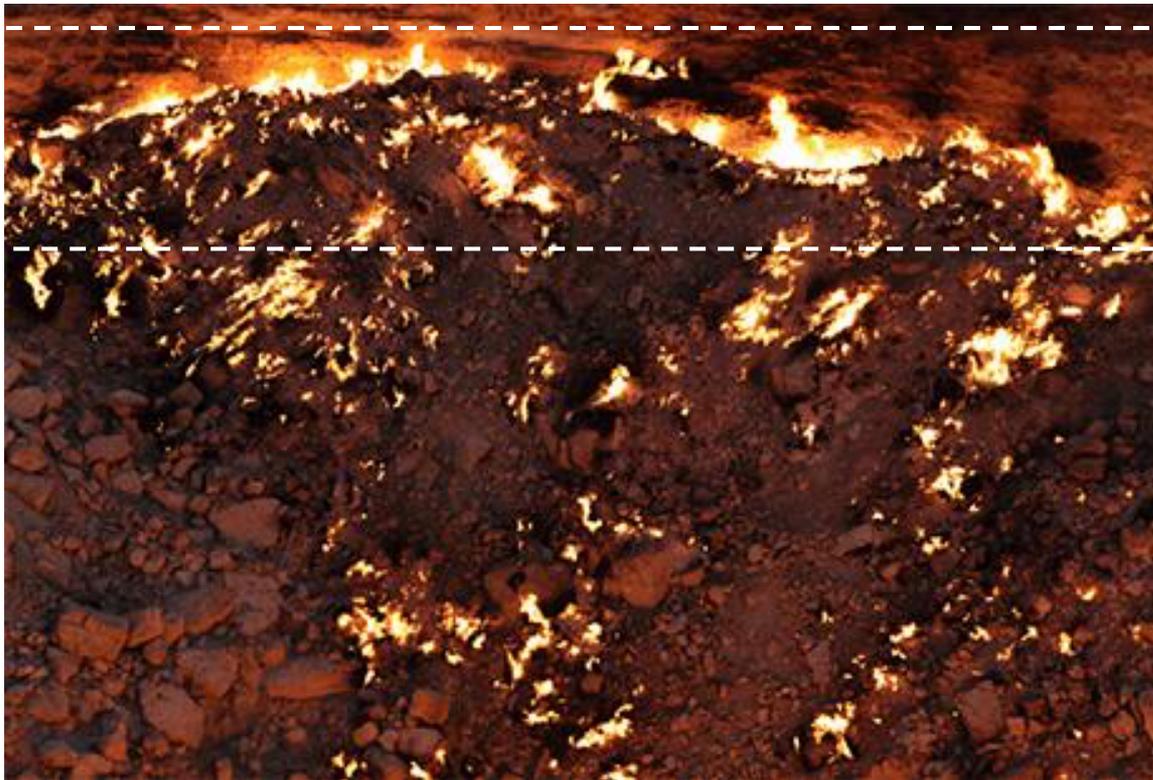


Silk Drying 2, Kyoto, Japan 1951
© Werner Bischof / Magnum Photos
ワーナー・ビショフ (マグナム・
フォト)



Adrien MISSIKA, Darvaza, 2011, Centre national des arts plastiques © Adrien Missika / CNAP / photo : Galerie Bugada & Cargnel

Supernature フランス国立造形芸術センター (CNAP) コレクション



燃え盛る岩が上部と下部
をくっきり分けていま
す。

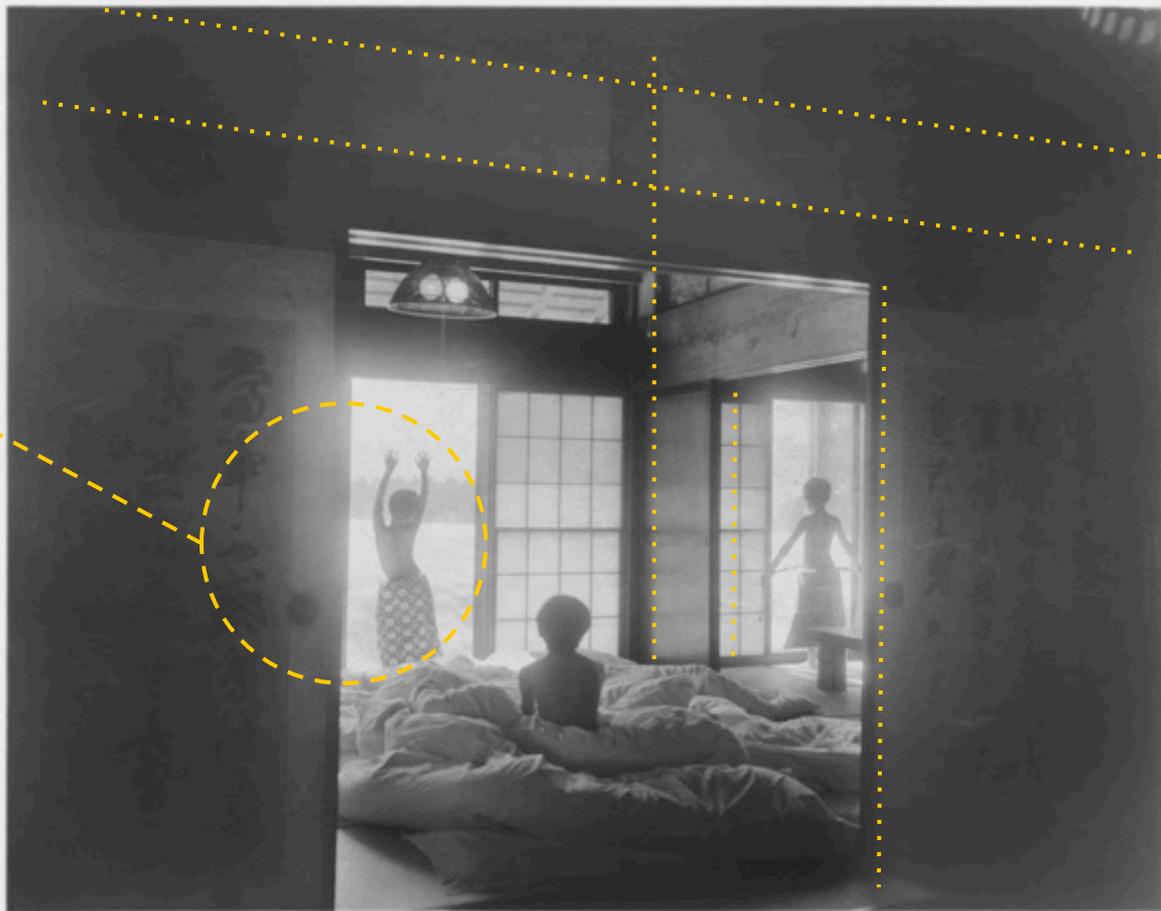
Adrien MISSIKA, Darvaza, 2011, Centre
national des arts plastiques © Adrien Missika /
CNAP / photo : Galerie Bugada & Cargnel

Supernature フランス国立造形芸術センター
(CNAP) コレクション



榮榮&映里 [妻有物語]
2014 © RongRong & inri

光によって強調され、はっきりしたコントラストができています。

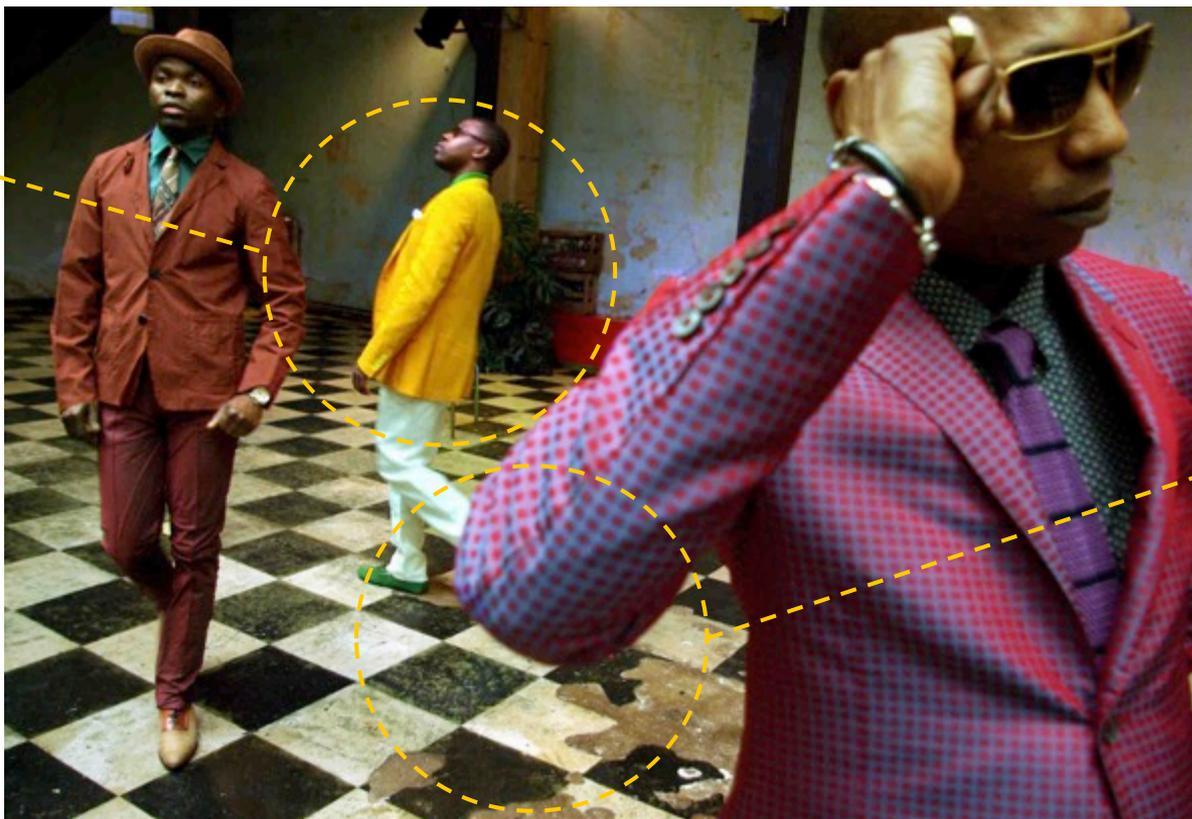


縦と斜めのラインがフレームの役割となり焦点が真ん中にあるということが分かりますね。



ボードワン・ムアンダ
[バコンゴのファッションイスタ「サブール」]
2008 © Baudouin Mouanda

落ち着いた色調の
背景のなかでは
特に明るい色に目
がいきます。

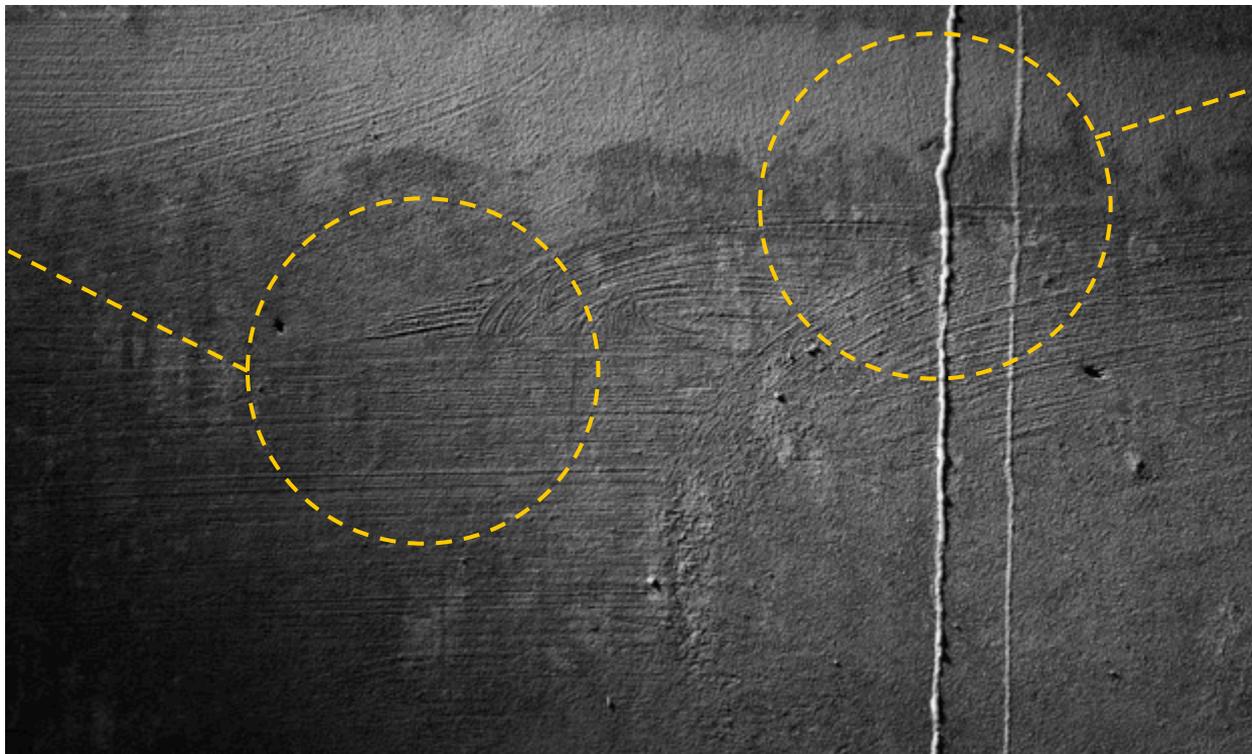


スーツや床の柄によ
って力強さやリズム
が生まれます。



アーウィン・オラフ 「Light by Erwin Olaf presented by Ruinar」
2015年 © Erwin Olaf for Ruinar

ザラザラした表面に優しい光があたっていて、どんな触感かが想像できますね。

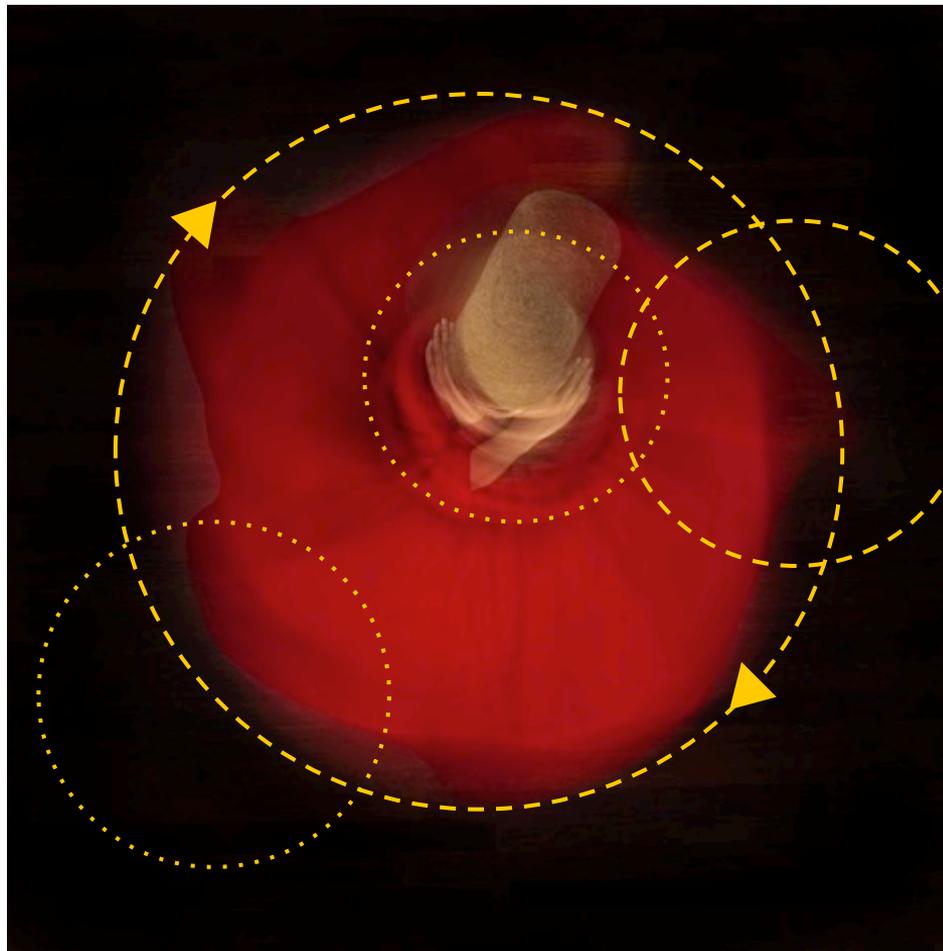


二本の白のラインで作られた縦長の長方形がアクセントになっています。



「イスタンブール、トルコ」
《メヴレヴィー教団》シリーズより、
2008年 © Isabel Muñoz

連続する赤の円が中心から螺旋を描いていて背景の黒とのコントラストが印象的で視線が外に向かって動きます。



赤のグラデーションが動きを表現しています。

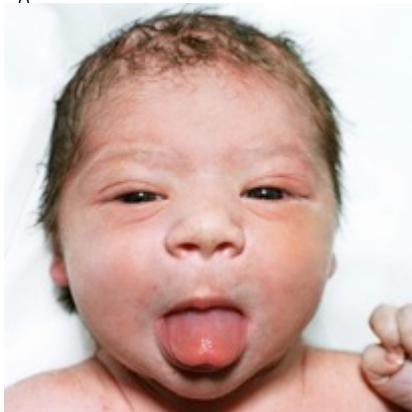
「イスタンブール、トルコ」
《メヴレヴィー教団》シリーズより、
2008年 © Isabel Muñoz

しゅだい 主題

1. キーワードを理解しよう

作者の考え（主題）：被写体を通して、または何かのイメージによって、伝えたい気持ちや考えを「主題」と呼びます。

「主題」がはっきりあると、見る人にあなたの考えがしっかり伝わる作品になります。



© ティエリー・ブエット



© Tadashi Ono



© Robert Capa

しゅだい 主題

2. そのしくみを観察して、分析してみよう

写真の中の被写体をじっくり観察しましょう。

写真全体を眺めてその他の細かい所もよく観察しましょう。

- 作者が作品づくりに選んだ「主題」はなんだと思いますか？
- その被写体は、細部までみえるように撮られていますか？それとも全体がみえるように撮られていますか？
- その被写体はどのように配置されていますか？どこか一点に目が行くように配置されていますか？それとも一点だけに目が集中しないように配置されていますか？
- 作者は写真を通して、何を私たちに知ってほしいのでしょうか？何を考えてほしいとおもっているのでしょうか？

しゅだい 主題

3. 撮ってみよう

撮影する被写体を決めましょう。(家族、食べ物、野外のどこか、屋内のどこか、自然、成長など)

その被写体を通して、あなたが皆に伝えたいと思う「主題」を決め、5枚写真を撮りましょう。

- 「構図」と「遠近法」を意識して、美しい、面白いと思わせる部分（「要素」）や理由（「原理」）を組み合わせさせてみましょう
- どこを中心に撮影したいかを考えて撮りましょう。どの部分をよくみてほしいと思っていますか？
- 撮ろうとするものをじっくり何度も見てみましょう。あなたの「主題」はいろいろな見え方がし、あなたもいろいろな撮り方ができるということがわかるでしょう。

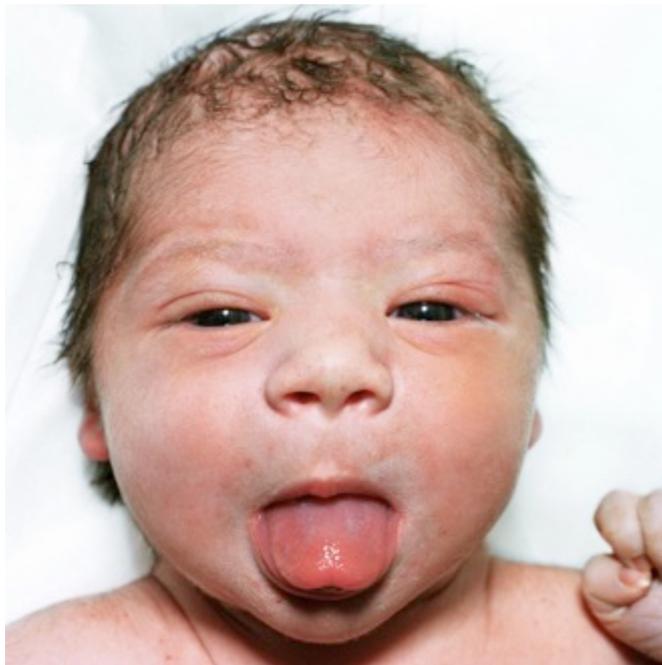
しゅだい 主題

4. みんなで評価し合おう

2、3人のグループになり、撮った写真を見て話し合しましょう。

- 写真の「主題」が何かを意識して集中して見てみましょう。そこには撮った人のどういう考えからその「主題」が選ばれたのかも考えてみましょう。
- 「構図」と「遠近法」は意識されていますか？美しい、面白いと思わせる部分（「要素」）や理由（「原理」）はどのように組み合わせられていますか？作者の考えや気持ちを伝えるにあたって、そのやり方は効果的でしたか？
- 作者の考えや気持ちははっきりと伝わっていますか？もっとはっきりと伝えるために、できることはありますか？

同じ主題を異なった被写体を通して表現できます。



ティエリー・ブエット 「生後25分の男の子」 2008年

主題：

- いのち
- 成長
- 希望

ほかにどのような被写体を使ってこれらの主題を伝える事ができると思いますか？



ロバート・メイプルソープ「チューリップ」1984年
© Robert Mapplethorpe Foundation. Used by permission.



Untitled 2012
© Rinko Kawauchi (Nature in Tokyo)

主題はなんだと思いますか？



From the 247th to 341st Day, Tohoku © Tadashi Ono



クリス・ジョーダン
「CF000478 コアホウドリのヒナの体に入っていたもの」
ミッドウェイ諸島 2009年



19 August 1993 Mihama fukui Pref. © Taishi Hirokawa

主題、テーマ: 環境破壊, 人が自然に及ぼす影響, 自然と人工物
どんな**被写体**を使ってこれらの主題を伝えようとしていますか?



主題はなんだと思いますか？

Royal White Tiger (2012) © Tim Flach (ティム・フラック)

主題：動物の世界、肖像画、人間と動物との関係性



Ya Yun, a giant panda from western China
© Tim Flach



Série Primates, 2015
La Vallée des Singes, Romagne, France © Isabel Muñoz



主題はなんだと
思いますか？

クリス・スティール=パーキンス「砂漠
の難民：最悪の難民キャンプ、シャアラ
ン・ワン・キャンプでは今日も何千人も
の難民が静かに食糧配給の列に並ぶ」
ヨルダン 1990年

© Chris Steele-Perkins / Magnum Photos

主題：難民、移民、亡命、悲しみ

下の写真では

どのようなイメージもしくは被写体を通してこの主題を表現しようとしていますか？



Civilians returning home, Pont L'Abbé, France, June 15th, 1944
© Robert Capa / International Center of Photography / Magnum Photos



Immigrants emerge from the camp for another attempt to cross the Channel and enter in Britain illegally. Sangatte, France, February 29th, 2001
© Patrick Zachmann / Magnum Photos

実際に写真を撮ってみてどうでしたか？

- 「人の心に残る写真」とはどのような写真だと思いますか？
- 写真を3枚選んで、「人の心に残る写真」にはどのような特徴があって、他の写真とはどのようなところが違うのかを話あってみましょう。

それでは、
写真コンクールへ挑戦してみよう！



「キョウトグラフィ京都国際写真祭」からのメッセージ
2017年のテーマ「LOVE」

きみにとって愛とは何？

愛は人間同士をつなぐものです。

相手を思い、信じる気持ち。相手に与えて、希望をもたらすもの。
両親や友達、兄弟、ペットなど身近な存在へのおもいやりであったり、
国や文化を大切にすることだったり、自分が仕事や活動を行う時に感じる何かしら引き寄せられていく感情であったり。

愛にはいろいろな形があり、いろいろな見え方がします。

愛のはじまりが、相手を理解し、理解されたいという気持ちから生まれたとするならば、このいろいろな形、いろいろな見え方をお互いに認めることが大事なのかもしれません。そして私たち人間だけが、たくさんの写真や絵をみることで、このことを感じとることができるのです。

例えば...

- 大好きな人、大好きなもの、大好きな自分の町、大好きな表現の仕方
- 愛と平和、愛とおだやかさ、愛と違い、愛と戦争、愛と家族
- 自然が好き、絵が好き、映画が好き、地球が好き、犬が好きなど

自分なりの”愛”というきもちを探って写真を撮ってみよう！

KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2017

「キョウトグラフィ京都国際写真祭」は毎年春、市内各所で4週間にわたって開催されるフェスティバルです。写真を通して、あらゆる年齢、文化、生き立ちの人たちをつなげたいという考えから生まれました。世界中からいろいろな考えをもつ写真家たちが参加し、また世界中から写真を通して世界とつながろうとする人たちが集まります。

このプログラムは、これを機に写真に対する関心を持っていただきたく、またこれからのみなさんの表現方法のひとつとして役立ててほしいという願いから始めました。皆さんの京都そしてその文化に対するユニークな観点をこのフェスティバルに織り込み、このコンクールを通して個性あふれる創造力を発揮してください。

KYOTO

GRAPHIE

international

photography festival

KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2017
写真への入門

執筆・編集

ローラ・ドートマンズ (カナディアンアカデミー美術教員)

マルグリット・パジェ (KYOTOGRAPHIE オーディエンスデベロップメントディレクター)

翻訳・編集補助

泉川真紀 (KYOTOGRAPHIE コミュニケーション&パートナーシップディレクター)

森本菜穂 (KYOTOGRAPHIE オーディエンスデベロップメントアシスタント)

Special Thanks to

ローレン・ハドラー (KYOTOGRAPHIE 展示制作&教育プログラムディレクター)

ローラ・ドートマンズ (カナディアンアカデミー美術教員)

高倉小学校校長 岸田蘭子先生

高倉小学校 久保田先生

資材協力

FUJIFILM

© KYOTOGRAPHIE 2017